

中3学年団に、変わり始めた気配

2学期が始まって3週間。

中3学年団に、これまでとは少し違う空気が流れ始めています。

生徒の姿からも、先生方の動きからも、そして学年掲示からも、「次」へ向かう力が伝わってきます。

そんな「静かな熱」を感じているのは私だけでしょうか。

先日、職業・家庭科の職業分野の授業をのぞいてみました。

テーマは、「働く生活に向けて—今だからこそ変わるチャンス—」。

そこで、「わたしが 今 がんばること！」という学習が行われ、そのまとめが、学年掲示されています。

3-1 では、「働く」ということをかなり直接的に意識した回答が目立ちます。

- 相手に伝わるように話す、敬語を使う、約束を守る、集中して話を聞く、行動を早くする、苦手なことに自分からチャレンジする。
-

3-2 では、三クラスの中でも特に人との関わり方に関する回答が豊富です。

- 相談ができる、自分の気持ちを言う、相手が嫌な気持ちにならないよう伝える、相手の気持ちを考える、最後まで聞いて行動する、身だしなみを整える。

3-3 では、自分から行動すること・自分で考えることが比較的是っきり出ています。

- 日誌などの文章を自分で考える、自分から気持ちを伝える、分からない時は聞き直す、一人で登校する、気持ちを切り替える方法を見つける、宿題を毎日自分でする。

一つ一つの言葉を読んでいると、心に留まることがあります。

それは、「できるようになりたい」という願いだけでなく、「そのために、自分はどうか」まで考えた言葉が多いことです。

話すことなら、相手に伝わるように話す。分からないことがあれば、聞き直す。気持ちが乱れたときは、切り替える方法を見つける。苦手なことにも、自分からチャレンジする。

そこには、今の自分を少し見つめながら、「次の自分」を思い描いている姿があります。

そして、もう一つ心に残ったことがあります。

ミスをしてもすぐに落ち込まず切り替える。最後まであきらめずに自分の気持ちを伝える。落ち着いて話をする。

「働くために必要な力」を考える時、どうしても「できること」や「身に付けること」に目が向きます。

けれど、生徒たちの言葉には、うまくいかない時の自分と、どう付き合っていくかという視点もありました。

これは、少し先の「働く生活」を考え始めたからこそ見えてきた、自分自身の課題なのかもしれません。

「働く」ということを、遠い将来の話にしない。

今日、話を聞く。今日、時間を確認する。今日、相手の気持ちを考える。今日、分からなければ聞き直す。今日、もう一度やってみる。

そんな一日一日の積み重ねが、少し先の「働く生活」につながっていく。

「今だからこそ変わるチャンス」という先生方からのメッセージが、生徒たちの中で、「わたしが今がんばること」という、自分自身の言葉に変わり始めている。

そう考えると、一つ一つの言葉が、「働く生活のために頑張ること」ではなく、「なりたい自分に近づくために、今、自分が頑張ること」として見えてきます。

まだ、大きな変化ではありません。

けれど、確かに何かが動き始めている。

中3学年団に流れ始めた、この「静かな熱」。

その熱が、一人一人の「次の一歩」につながっていくことを、楽しみにしています。

項目	3-1	3-2	3-3
① 何を自分の課題として捉えているか	働くためのコミュニケーションや社会生活の力	人との関わりや生活習慣	自己表現や自分で行動する力
② どんな自分を思い描いているか	周囲と関わりながら働く自分	相手を意識して行動する自分	自分で考え、伝え、行動する自分
③ どんな一歩を踏み出そうとしているか	伝える・聞く・守る・挑戦する	相談する・伝える・考える・整える	聞き直す・切り替える・自分でする・挑戦する

表 中学部3年生「わたしが今がんばること！」に表れたクラスごとの特徴(校長私案)



やってみよう! もう一度やってみよう! 最後までやってみよう!
一歩、二歩、三歩。その先へ

この言葉を大切に、魅力ある虹の原の教育を育んでいきます。

～R8年度 学校経営方針の実現に向けて～